

## 動物由来感染症とは？

動物由来感染症とは、その名のとおり動物から人間にうつる病気のことです。

人間と動物の両方に感染して病原性を現し、人間と動物に共通の症状が認められる感染症を人獣共通感染症と呼び、その数は200を超えられています。

人獣共通感染症は、動物から人間にうつる病気、人間から動物にうつる病気などがありますが、特に動物から人へうつる病気を動物由来感染症と呼び、人の健康問題という観点から重要視されています。

人の感染症については医学が対応し、動物の感染症については獣医学が対応しますが、動物由来感染症については、医学と獣医学が協力して対応することが大変重要です。

# 世界ではこんなことが起こっています

### アジアであったこんな話

- **レプトスピラ症**  
洪水後、河で泳いで不明熱、感染源はネズミの細菌
- **鳥インフルエンザ(H5N1)**  
ニワトリでの感染がアジア、ヨーロッパ、アフリカなどに拡大し、感染した鳥と濃厚に接触した人が感染し死亡
- **ニパウイルス感染症**  
オオコウモリのウイルスがブタに感染した後に、人がブタから感染して脳炎で死亡
- **狂犬病**  
犬に咬まれて感染発症し、死亡
- **デング熱**  
流行地域に滞在中に蚊に刺されてウイルスに感染し発熱、まれに重篤になることもある
- **チクングニア熱**  
流行地域で蚊に刺されることにより感染する。感染地域もアフリカ、南アジアから東南アジアへと拡大している

### 北アメリカであったこんな話

- **狂犬病**  
コウモリから感染発症し、死亡  
アライグマやスカンクに咬まれてまれに感染
- **ハンタウイルス肺症候群**  
致死率の高い呼吸器感染症、野生ネズミが感染源
- **Bウイルス病**  
一部のアジア産サルに咬まれ、唾液に潜んでいた致死性ウイルスに感染
- **ペスト**  
野生リス、プレーリードッグが感染源  
死亡者もいる
- **サル痘**  
アフリカから輸入したげっ歯類からプレーリードッグに感染し、更に入へ
- **ウエストナイル熱**  
蚊が媒介する病気、カラスの不明死に次いで人での発生

### ヨーロッパであったこんな話

- **サルモネラ症**  
爬虫類のペットから、乳児が感染して死亡
- **ネズミチフス菌症**  
かかった原因を調べたところ、ハリネズミとの接触
- **ダニ媒介性脳炎**  
中東で森林散策した後に、高熱を出して死亡
- **野兔病**  
汚染地帯で、野ウサギやダニから感染して発熱

### アフリカであったこんな話

- **エボラ出血熱、マールブルグ病**  
サルから感染した後に、人から人へ体液で感染
- **サル痘**  
人がサルやリスなどの野生動物から感染すると、天然痘に似た症状
- **クリミア・コンゴ出血熱**  
動物から人が感染した後に、人から人へ院内感染
- **ラッサ熱**  
西アフリカでネズミが媒介する病気  
患者は毎年30万人

### 中近東であったこんな話

- **ブルセラ症**  
ウシなどの家畜にふれたり、未殺菌乳を飲んで慢性感染
- **炭疽**  
もともと土壌に長期生存し、かかった動物から人が感染

### オーストラリアであったこんな話

- **リッサウイルス感染症、ヘンドラウイルス感染症**  
コウモリ由来のウイルスで、新たな病気で死亡者発生

### 中南米であったこんな話

- **黄熱**  
サルでの流行が見られる森林地帯で、感染サルを吸血した蚊に刺された人が感染
- **狂犬病**  
吸血コウモリに咬まれた人や家畜が感染し、発症して死亡  
まれに、野生のサルも発症

# 一方、日本ではこんなことが起こっています

- **サルモネラ症**  
● ペットのミドリガメから子供や高齢者が感染し重症。  
【潜伏期間】  
6~72時間  
【症状】  
胃腸炎症状

- **エキノコックス症**  
● キタキツネの糞により感染し、20年後に発症。  
【潜伏期間】  
数年~数十年  
【症状】  
初期:上腹部の不快感・膨満感  
末期:肝機能障害

- **野兔病**  
● 野ウサギを捕獲後、食用するために解体し感染。  
【潜伏期間】  
2日~10日  
【症状】  
突然の悪寒、発熱、頭痛

- **オウム病**  
● 鳥類展示施設においてオウム病が発生し、従業員や一般来園者へと感染が拡大。  
【潜伏期間】  
【症状】  
インフルエンザ様症状(高熱、頭痛、全身性倦怠感)

- **狂犬病**  
● 海外で犬に咬まれ感染した人が日本帰国後に発症し、死亡。  
【潜伏期間】  
1~3ヶ月  
【症状】  
初期:風邪様症状  
咬傷部位の知覚異常  
末期:狂水症、興奮、麻痺等の神経症状

- **レプトスピラ症**  
● 感染したネズミの尿に汚染された川や滝において水遊びをして感染。  
● 動物輸入業者が輸入したアメリカモモンガから感染。  
【潜伏期間】  
5~14日  
【症状】  
軽症:感冒様症状(発熱、悪寒、頭痛)  
重症:黄疸、出血、腎障害

- **パスツレラ症・猫ひっかき病**  
● イヌやネコが普通に持っている細菌で、イヌやネコに咬まれたり引っかかれたりして感染。特にパスツレラ症は動物由来感染症の中で、最も患者数が多い感染症。  
【潜伏期間】  
数時間~数日  
【症状】  
受傷部位の腫れや化膿・痛み、発熱、リンパ節の腫脹

### ※注意

この地図の作成に際しては、動物由来感染症をご理解いただくために、実際の情報、身近な例を引き合いにしています。「動物由来感染症とは何か」、そして「どのような行動(どこで、何をするか)で動物由来感染症に罹る危険が生じるのか」について、その一端を知っていただければ幸いです。

「個々に例示した動物が絶対に危ない」とか、「例示した国でその病気だけが特別に危ない」ということではないことをご了解ください。

また、ここで紹介した病気は、例示した地域だけに発生しているわけではなく、いくつかの地域にまたがって発生しているものもありますが、ここでは代表的な発生地域を選んでご紹介しています。